

## レタスのすそ枯病やシロイチモジヨトウ、オオタバコガなど病害虫の防除を徹底しましょう

レタス栽培では、9月中～下旬の気温が平年よりやや高く、降水量は地域の差が大きいものの並～多く経過しました。この間、9月中旬と下旬に2つの台風が本県に近づき、大きな被害は無かったものの影響を与えています。

病害虫発生予報10月号(県病害虫防除所)によると、9月下旬現在、レタスすそ枯病の発病株率(本年3.6%、平年0.04%)、発生地点率(本年27%、平年1%)とも平年より高く、10月も多い発生量で推移すると予測しています。また、害虫を調査するフェロモントラップへの誘殺数から、レタスを含め多くの野菜に寄生するシロイチモジヨトウは10月の発生量が多く、オオタバコガはやや多い～多く、ハスモンヨトウは平年並～やや高い発生になると予測しています。

すそ枯病の本県における秋レタスでの発生は、やや高温で降雨量の多い年に発生が多くなる傾向で、早植えの作型では特に注意が必要です。また、今後も降雨が多くなると、菌核病、灰色かび病や腐敗病、斑点細菌病、軟腐病の発生してくる懸念があり、発病後は急速に進展して多発生になる恐れがありますので、早めの予防が重要で、気象予報を考慮しながら薬剤の予防散布に努めてください。

さらに害虫では、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハスモンヨトウなど結球内に食入するものは、潜入後の薬剤防除が困難になるため、結球始期前後の薬剤防除を徹底してください。(各病害虫の防除については、「営農NEWS 第2985号(令和4年9月5日発行)」の「レタスの生育期における主な病害虫防除」も参考にしてください。)

### 【病害虫防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は、各種病害の発生を助長しますので、排水対策など圃場環境の改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬剤が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考にレタスおよび非結球レタスの収穫前日数に十分注意してください。
- 4 被害株は周辺株や次作の伝染源となるため、早急に圃場外に持ち出し、土中深く埋めるなど適切に処分してください。

表1 レタスまたは非結球レタス すそ枯病の主な防除薬剤 (令和4年10月7日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
パレード20フロアブル	○	○	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	菌核病、灰色かび病	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000倍	収穫3日前まで / 3回以内 収穫14日前まで / 3回以内	菌核病、灰色かび病	11
リゾレックス水和剤	○		1,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	白絹病	14
ダコニール1000	○	リーフレタスのみ	1,000倍	収穫14日前まで / 3回以内 収穫21日前まで / 2回以内	べと病、灰色かび病	M5
バリダシン液剤5	○	○	800倍	収穫前日まで / 3回以内 収穫3日前まで / 3回以内	腐敗病、軟腐病	U18

注) 表1および2の分類欄には、FRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 レタス腐敗病の主な防除薬剤 (令和4年10月7日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
スターナ水和剤	2,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	軟腐病、斑点細菌病	31
カセット水和剤	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	軟腐病、斑点細菌病	24と31
カスミンボルドー	1,000倍	収穫7日前まで / 4回以内	斑点細菌病	24とM1
バリダシン液剤5	800倍	収穫前日まで / 3回以内	軟腐病、すそ枯病	U18
ヨネポン水和剤	500倍	収穫14日前まで / 4回以内	べと病、軟腐病、斑点細菌病	M1

表3 レタスまたは非結球レタス オオタバコガおよびハスモンヨトウの主な防除薬剤 (令和4年10月7日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	シロイチモジヨトウ登録	分類
グレーシア乳剤	○	○	2,000～3,000倍	収穫3日前まで / 2回以内	○	30
フェニックス顆粒水和剤	○	○	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 2回以内		28
プレオフロアブル	○	リーフレタスのみ	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内		un
トルネードエースDF	○	○	2,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	○	22A
ディアナSC	○	○	2,500～5,000倍	収穫前日まで / 2回以内		5
アフーム乳剤	○	○	1,000～2,000倍	収穫3日前まで / 3回以内		6
コテツフロアブル	○		2,000倍	収穫前日まで / 2回以内		13

注1) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

注2) シロイチモジヨトウの防除薬剤については、「営農NEWS 第2986号(令和4年9月7日発行)」の「シロイチモジヨトウの発生と薬剤防除について」を参照してください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農NEWSはJA全農いばらきホームページでもご覧になれます。